

日本語NAT-TEST 2024

にほんごなつとてすと Since 1989 www.nat-test.com

4Q A2
NAT-TEST CEFR

16か国 **100**試験会場 / 年**6**回以上実施

16 Countries 100 Test Centers / Held more than 6 times a year

最新の会場は公式サイトで確認してください。
Please check our website for more information.

日本語 P. 2-5

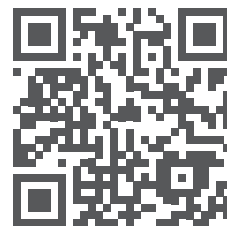
English P. 6-9



おかげさまで
累計申込者数 **100** 万人
Thank you for one million test takers!

試験月 Test Month	2 FEB	4 APR	6 JUN	8 AUG	10 OCT	12 DEC
実施する級 Available Levels	1Q 2Q 3Q 4Q 5Q	1Q 2Q 3Q 4Q 5Q	1Q 2Q 3Q 4Q 5Q	1Q 2Q 3Q 4Q 5Q	1Q 2Q 3Q 4Q 5Q	1Q 2Q 3Q 4Q 5Q

Test Schedule



SENMON KYOUIKU
専門教育出版

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19
Email natstest@senmonkyouiku.co.jp



日本語NAT-TESTとは

日本語 NAT-TEST は日本語を母語としない人の日本語能力を測定する検定試験です。「文字・語彙」「文法・読解」「聴解」の習熟度を測定し、日本語能力を総合的に判定します。1989年から始まり、2007年に現在の名称に変わりました。現在は、留学ビザや技能実習（介護）ビザの申請や進学の際の日本語能力証明として幅広く活用され、**累計申込者数はのべ100万人を超えました**（2007年第1回～2023年12月）。

名称	日本語NAT-TEST (にほんごなっとてすと / The Japanese Language NAT-TEST)
目的	日本語を母語としない人の日本語能力を測定し判定すること
主催者	株式会社専門教育出版（所在地：東京都新宿区）
実施回数	年6回以上 ※1級は年3回（2月、6月、10月）
実施月	2月、4月、6月、8月、10月、12月 ※年度により変わることがあります。
実施国	16か国（詳しくは表紙の地図をご覧ください）
レベル	1級から5級までの5段階
出題形式	日本語能力試験に準拠
出題内容	日本語能力試験に準拠（詳しくは3ページをご覧ください）
試験形式	選択式（PBT、CBT）
結果発表	試験日から3週間以内にホームページで発表 受験者に成績表を発行、合格者に合格証を発行

日本語NAT-TESTの特徴

年6回以上開催

2か月ごとに開催する日本語 NAT-TEST は、学習者の目的やスケジュールに合わせて活用できる試験です。繰り返し受験すると学習の伸びや不得意な分野が確認でき、効率よく学習できます。

日本語能力試験と同じ形式

日本語 NAT-TEST の出題形式や出題傾向は日本語能力試験（JLPT）とほぼ同じです。日本語能力試験の模擬試験として活用できます。

試験日から3週間以内に結果発表

試験日から3週間以内に合格者の受験番号をホームページで発表します。結果がすぐに分かるので、次の目標に向かってテンポよく進むことができます。

留学・技能実習（介護）ビザ申請用の証明書を発行

ビザ申請時や大学出願時などの日本語能力証明として「成績証明」をご利用いただけます。

※詳しくは5ページをご覧ください。

成績表



成績表には合否判定だけでなく、分野ごとの得点や評価などの詳しいデータが記載されているので弱点対策に役立ちます。

合格証



合格者には顔写真入りの合格証を発行します。

テストの難易度と出題基準

級	難易度と出題基準	想定する受験者
1級	日本語能力試験 N1 に準拠	○日本語学習時間が 1,000 時間程度の上級の学習者 ○日本の大学・大学院進学、日本語能力試験 N1 合格を目指す学習者
2級	日本語能力試験 N2 に準拠	○日本語学習時間が 800 時間程度の中級後半の学習者 ○日本の大学・専門学校進学、日本語能力試験 N2 合格を目指す学習者
3級	日本語能力試験 N3 に準拠	○日本語学習時間が 600 時間程度の中級前半の学習者 ○日本の大学・専門学校進学、日本語能力試験 N3 合格を目指す学習者
4級	日本語能力試験 N4 に準拠 CEFR A2 相当	○日本語学習時間が 400 時間程度の初級後半の学習者 ○日本語能力試験 N4 合格を目指す学習者
5級	日本語能力試験 N5 に準拠	○日本語学習時間が 200 時間程度の初級前半の学習者 ○日本語能力試験 N5 合格を目指す学習者

テストの内容

級	分野	配点	総合 得点	試験 時間	内容
1級	言語知識 (文字・語彙・文法)・ 読解	120点	180点	110分	文字・語彙：漢字読み、文脈規定、言い換え類義、用法 文法：文法形式の判断、文の組み立て、文章の文法 読解：内容理解（短文、中文、長文）、統合理解、主張理解、 情報検索
	聴解	60点		55分	課題理解、ポイント理解、概要理解、即時応答、統合理解
2級	言語知識 (文字・語彙・文法)・ 読解	120点	180点	105分	文字・語彙：漢字読み、表記、語形成、文脈規定、言い換 え類義、用法 文法：文法形式の判断、文の組み立て、文章の文法 読解：内容理解（短文、中文）、統合理解、主張理解、情 報検索
	聴解	60点		50分	課題理解、ポイント理解、概要理解、即時応答、統合理解
3級	言語知識(文字・語彙)	60点	180点	30分	漢字読み、表記、文脈規定、言い換え類義、用法
	言語知識(文法)・ 読解	60点		70分	文法：文法形式の判断、文の組み立て、文章の文法 読解：内容理解（短文、中文、長文）、情報検索
	聴解	60点		40分	課題理解、ポイント理解、概要理解、発話表現、即時応答
4級	言語知識(文字・語彙)	60点	180点	25分	漢字読み、表記、文脈規定、言い換え類義、用法
	言語知識(文法)・ 読解	60点		55分	文法：文法形式の判断、文の組み立て、文章の文法 読解：内容理解（短文、中文）、情報検索
	聴解	60点		35分	課題理解、ポイント理解、発話表現、即時応答
5級	言語知識(文字・語彙)	60点	180点	20分	漢字読み、表記、文脈規定、言い換え類義
	言語知識(文法)・ 読解	60点		40分	文法：文法形式の判断、文の組み立て、文章の文法 読解：内容理解（短文、中文）、情報検索
	聴解	60点		30分	課題理解、ポイント理解、発話表現、即時応答

※聴解分野の試験時間は回により若干増減します。

合格基準

「総得点が合格点を上回っていること」と「各得点区分の得点が、基準点を上回っていること」の2つの条件を満たしている場合、合格と判定されます（基準点は得点区分によって異なります）。これは偏りのない日本語能力を評価するための措置です。日本語 NAT-TEST は 2007 年から基準点を導入しています。

お申し込み方法

申込方法	試験を受ける会場ごとに異なります。詳しくは試験会場の事務局にお問い合わせください。 事務局のお問い合わせ先はホームページ < www.nat-test.com > をご覧ください。
申込締切日	試験日の4週間前
受験料	試験を受ける会場ごとに異なります。 詳しくは試験会場の事務局にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

もっとも信頼される日本語試験をめざして

不正行為の撲滅へ

日本語 NAT-TEST は、試験におけるカンニングや替え玉受験等の不正行為を学問への冒涇として厳正に対応しています。不正防止のために下記のような対策を行っています（一例）。

厳正公正な試験運営の徹底

日本語 NAT-TEST は、試験を厳正公正に行うことを最優先事項に掲げています。公正かつ円滑に試験を行うためのマニュアルを作成し、それに従って試験を運営しています。

試験前

試験会場の整備

- 机の間隔や試験監督の配置の規定
- 本部監察官、第三者委員による監察

試験問題の漏洩対策

- 試験資料の厳封および厳重な保管規定
- 試験当日、受験者の前での開封規定

試験中

不正受験対策

- 公的身分証と顔写真付受験票での本人確認
- 解答用紙の受験番号、名前の書換防止策
- 受験者からの通報システム

※詳しくは 15 ページをご覧ください。

試験後

厳正公正な試験結果

- カンニングを無効化するシステムの導入
- 試験後の不正者認定措置
- 不正受験者の再受験禁止措置
- 各種証明書の偽造防止処理
- 匿名での通報専用アドレスの公開

※詳しくは 15 ページをご覧ください。

監視カメラによる不正者対策



アンディジャン会場の例

死角を生まない試験監督の配置規定



マニラ会場の例

試験問題が事前漏洩していないことを受験者の前で証明



机の間隔などを規定した厳格な会場規定



ウランバトル会場の例

30年におよぶデータとノウハウをもとにした試験問題の開発

高品質な試験問題

試験問題は、ベテランの日本語教師を中心とした作問委員が作成しています。基準検討委員として長年日本語教材の開発に携わってきた編集者が、出題基準と整合しているかを厳しくチェックしています。

明確な出題基準

級ごとに語彙や漢字などの出題基準を設け、レベルに応じて適切な出題ができるよう管理しています。出題基準の底本については11ページをご覧ください。

試験問題開発の流れ

1. 作問委員が出題基準に基づき問題案を作成
2. 編集委員が問題案をまとめて初稿を作成
3. 基準検討委員が出題基準に整合しているか確認
4. 校閲委員による試し解き
5. 上記を繰り返した後、完成

毎回の試験の解答データを集計

すべての試験問題のデータを毎回集計し、正答率や解答の傾向などを分析し、次の作問に活用しています。

日本語NAT-TESTのご活用

①日本語能力試験の模擬試験として

日本語能力試験と同じ形式を採用している日本語NAT-TESTは、日本語能力試験の模擬試験に最適です。年6回以上*受験でき、何度でも腕試しできます。*1級は年3回開催

②募集の条件や入学試験として

日本語NAT-TESTを入学選考等でご利用いただくと、入学前に受験者の実力と学習意欲を知ることができ、適切な指導がしやすくなります。

③ビザ申請時の日本語能力証明として

日本語NAT-TESTの成績証明は、留学ビザや技能実習(介護)ビザの申請時に日本語能力証明として出入国在留管理庁に提出できます。申請方法は下記「成績証明の申請について」をご覧ください。

④日本語習熟度の確認に

成績表には合否判定のほかに分野別・問題別の得点が記載されています。定期的に受験することで学習の伸びや不得意な分野が分かります。

成績証明の申請について

- ホームページで申請方法をご確認の上、お申し込みください。発行手数料は無料です(送料がかかります)。
- 電話での受付や、成績結果の口頭またはFAXでの回答はしておりません。
- 成績証明の発行は日本語学校、大学、専門学校、企業、技能実習監理団体宛のみとさせていただきます。



成績証明申請書

成績証明

日本語NAT-TESTの歩み

1989年、専門教育出版は長年の日本語教材開発の実績をもとに『日本語学力テスト』を開発し、東京で初めて開催しました。以来、国内外の日本語学校や高等学校で、学内の定期試験や日本語能力試験の模擬試験として活用されてきました。2007年、“中国国内向けの日本語学力テスト”として中国で最初の『日本語NAT-TEST』を開催しました(NAT-TESTのNATとはNihongo Achievement Testの頭文字です)。その後、中国以外の国でも開催するようになり今日に至っております。本テストの成績証明は、留学や技能実習(介護)のビザ申請時の日本語能力証明として地方出入国在留管理局へ提出できます。また、本テストは、日本語能力がCEFR A2レベル以上であることを証明するものとして、省庁でも利用されております。

The Japanese Language NAT-TEST

The Japanese Language NAT-TEST is an examination designed to measure the Japanese language ability of non-native Japanese speakers. By measuring vocabulary, grammar, reading and listening skills, the NAT-TEST gives a general evaluation of the test taker's Japanese proficiency. The first exam was held in 1989 and changed to its current name in 2007. Now, the Certificate is used as the proof of Japanese language skills for visa application* and university application for admission. **The total number of applicants has exceeded 1,000,000** (Since the 2007 1st test until the December 2023 test).

*Student visas, Technical Intern Training visas (care worker)

Name	The Japanese Language NAT-TEST
Purpose	To test and determine the Japanese ability of non-native Japanese speakers
Sponsor	Senmon Kyouiku Publishing Co., Ltd. (located in Shinjuku-ku, Tokyo, Japan)
Frequency	Held 6 times or more every year (1Q is held 3 times per year)
Dates	February, April, June, August, October, December (May slightly differ in certain years)
Host Countries	16 countries (Please refer to the cover page)
Levels	Five levels, ranging from 1Q (most difficult) to 5Q (easiest)
Style	Based on the Japanese Language Proficiency Test (JLPT)
Content	Based on the Japanese Language Proficiency Test (JLPT) (Please refer to p. 7)
Format	Multiple-Choice test (PBT, CBT)
Results	Exam results will be posted on our website within 3 weeks after the test. All examinees will receive a score report and those who pass will receive a Certificate of Proficiency.

Features of NAT-TEST

Held 6 times or more every year

The NAT-TEST is held every two months so that it can meet the needs and schedules of each and every student. By taking the exam multiple times, you can determine your weak areas and points to focus on in further Japanese studies.

Uses the same format as JLPT

Because the NAT-TEST is based on the Japanese Language Proficiency Test (JLPT), the format and types of questions are virtually the same. The NAT-TEST can also be used as a mock examination for those taking the JLPT.

Results announced within 3 weeks

Within 3 weeks of exam day, we will announce the results of the exam on our website. Because you will know the results soon after the exam, you can use it as a way to gauge your progress and set new goals for your Japanese studies.

A bridge to Japan

The Institution Score Report that can be used for visa or university admission application will be issued.

*Note: This document will only be issued to Japanese language schools, universities, vocational schools and companies located in Japan.

Score Report



The score report lists whether the examinee has passed/failed the exam, and also gives a detailed breakdown of the performance on each section of the exam.

Certificate



We will send each passing examinee a Certificate with their photograph attached to it.

Exam Difficulty and Criteria

Level	Difficulty and exam criteria	Expected examinees
1Q	Equivalent to JLPT N1	One has studied Japanese for approximately 1,000 hours. One intends to enter a Japanese university, graduate school or is seeking to pass N1 of the JLPT.
2Q	Equivalent to JLPT N2	One has studied Japanese for approximately 800 hours. One intends to enter a Japanese university, graduate school or is seeking to pass N2 of the JLPT.
3Q	Equivalent to JLPT N3	One has studied Japanese for approximately 600 hours. One intends to enter a Japanese university, graduate school or is seeking to pass N3 of the JLPT.
4Q	Equivalent to JLPT N4 Equivalent to CEFR A2	One has studied Japanese for approximately 400 hours. One is seeking to pass N4 of the JLPT.
5Q	Equivalent to JLPT N5	One has studied Japanese for approximately 200 hours. One is seeking to pass N5 of the JLPT.

Content of NAT-TEST

Level	Section	Points	Total points	Time allotted	Content
1Q	Language Knowledge (Vocabulary, Grammar), Reading	120	180	110 min	<Vocabulary> Kanji reading, contextually-defined expressions, paraphrases, usage <Grammar> Selecting grammar form, sentence composition, text grammar <Reading> Comprehension (short, mid-size and long passages), integrated comprehension, thematic comprehension (long passages), information retrieval
	Listening	60		55 min	Task-based comprehension, comprehension of key points, comprehension of general outline, quick response, integrated comprehension
2Q	Language Knowledge (Vocabulary, Grammar), Reading	120	180	105 min	<Vocabulary> Kanji reading, orthography, word formation, contextually-defined expressions, paraphrases, usage <Grammar> Selecting grammar form, sentence composition, text grammar <Reading> Comprehension (short and mid-size passages), integrated comprehension, thematic comprehension (long passages), information retrieval
	Listening	60		50 min	Task-based comprehension, comprehension of key points, comprehension of general outline, quick response, integrated comprehension
3Q	Language Knowledge (Vocabulary)	60	180	30 min	Kanji reading, orthography, contextually-defined expressions, paraphrases, usage
	Language Knowledge (Grammar), Reading	60		70 min	<Grammar> Selecting grammar form, sentence composition, text grammar <Reading> Comprehension (short, mid-size and long passages), information retrieval
	Listening	60		40 min	Task-based comprehension, comprehension of key points, comprehension of general outline, verbal expressions, quick response
4Q	Language Knowledge (Vocabulary)	60	180	25 min	Kanji reading, orthography, contextually-defined expressions, paraphrases, usage
	Language Knowledge (Grammar), Reading	60		55 min	<Grammar> Selecting grammar form, sentence composition, text grammar <Reading> Comprehension (short and mid-size passages), information retrieval
	Listening	60		35 min	Task-based comprehension, comprehension of key points, verbal expressions, quick responses
5Q	Language Knowledge (Vocabulary)	60	180	20 min	Kanji reading, orthography, contextually-defined expressions, paraphrases
	Language Knowledge (Grammar), Reading	60		40 min	<Grammar> Selecting grammar form, sentence composition, text grammar <Reading> Comprehension (short and mid-size passages), information retrieval
	Listening	60		30 min	Task-based comprehension, comprehension of key points, verbal expressions, quick responses

*The time allotted for the listening section may slightly differ in each exam.

Passing Criteria

There are two criterias for passing the exam. The first criteria is that the examinee must score more than the Overall Pass Marks for the exam. The second criteria is that the examinee must score more than the Sectional Pass Marks on each Scoring Section of the exam. If the requirements are met, examinees will be deemed to have passed the test. (Note: The Sectional Pass Marks differs in each Scoring Section.) This rule is intended to ensure an unbiased evaluation of each examinee's Japanese language ability. NAT-TEST has been using the Sectional Pass Marks since 2007.

How to Apply

How to Apply	The method of applying for the exam depends on your test site. Please contact your specific test site for more information. The contact information for each test site is listed on our website: www.nat-test.com
Application Deadline	Four weeks before the date of the exam.
Test Fee	The test fee depends on the test site. Please contact your specific test site for more information or refer to our website.

To Become the Most Reliable Japanese Language Test

No dishonest behaviors allowed

Dishonest behaviors such as cheating and proxy test-taking are strictly prohibited. The following measures (examples) are taken to cope with dishonest behaviors.

Exam carried out with strict integrity

Conducting the test with strict integrity is of top priority in the NAT-TEST. An administration manual is prepared to carry out a fair and smooth test. All tests are held based on the administration manual.

Before the exam

Preparation of test sites

- Spacing between desks and regulations of the position of proctors
- Inspection from head office and independent committee

Prevention of leakage of exam materials

- Regulations regarding sealing and storage of exam materials
- Regulations of opening exam materials in front of examinees on test day

During the exam

Coping with dishonest behaviors

- Identity verification by official ID cards and admission tickets with face photos
- Prevention of changing examinee's number and name on the answer sheet
- Reporting system from examinees

*Please refer to p.15 for details.

After the exam

Strict and fair exam results

- System of disabling cheating
- Measures to identify cheaters
- No retaking exams by cheaters
- Prevention of forgery of certificates
- Email address for anonymous reporting

*Please refer to p.15 for details.

Monitoring with surveillance cameras



An example from the Andijan test site

Position of proctors without any blind spots



An example from the Manila test site

Proof of preventing leakage of exam materials in front of examinees



Suitable distance between desks



An example from the Ulaanbaatar test site

Test Development based on over 30-year Data and Experience

Exam with high quality

Exam questions are developed by veteran Japanese language instructors. Textbook writers and editors as a standards-fixing committee strictly check if the questions conform to the guidelines of questions.

Clear guidelines of questions

Guidelines including vocabulary and kanji are set for each level so that suitable questions are written according to the level. For the guidelines, please refer to p.11.

Process of test development

1. Test-writers design questions based on the guidelines.
2. Editors revise the questions and prepare a first draft.
3. The standards-fixing committee checks if the questions conform to the guidelines of questions.
4. The proofreading committee pretests the materials.
5. The above steps are repeated until the final draft is completed.

Aggregation of data for every test

All question data are aggregated after every test to analyze the percentage of correct answers and tendency which will be utilized in developing the next test.

Advantages of NAT-TEST

1. For preparing JLPT

Adopting the same format as the Japanese Language Proficiency Test (JLPT), the NAT-TEST is the best mock exam for the JLPT. Examinees can take the test 6 times or more per year*, so one can try as many times as he/she can.

*Level 1Q is held 3 times per year.

2. For admission application or entrance exam

Using the NAT-TEST as a requirement for admission, Japanese proficiency and motivation of examinees can be known before admission and hence, suitable guidance can be more easily provided to students.

3. For visa application

The Institution Score Report of the NAT-TEST can be submitted to the Immigration Bureau of Japan for the application of Student visas and Technical Intern Training visas (care worker). Please refer to "How to apply for Institution Score Report" for details.

4. For evaluating your Japanese proficiency

Other than Pass/Fail, the general score and a detailed breakdown of every section are shown on the Score Report. Taking the test on a regular basis will let examinees know their strong and weak points.

How to apply for Institution Score Report

- Please confirm the official website for applying. It is free of charge (Postage will be charged).
- We do not accept application by phone or answer any questions regarding examinees' results by phone or fax.
- Institution Score Reports are only issued to Japanese language schools, universities, vocational schools, companies, and supervising organizations of technical intern trainees located in Japan.



Application form for Institution Score Report

Institution Score Report

History of the Japanese Language NAT-TEST

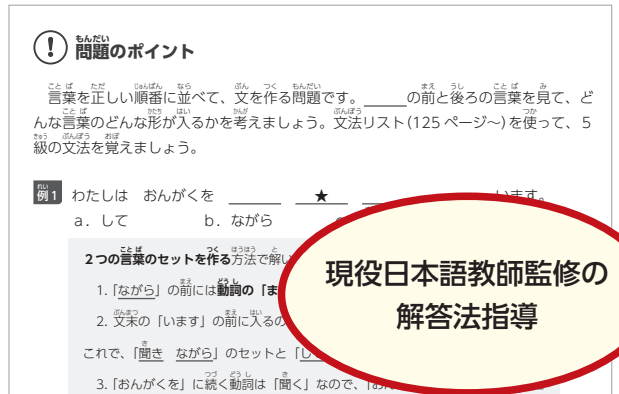
In 1989, Senmon Kyouiku Publishing developed the first Japanese Language Achievement Test in Tokyo. Since then, the Japanese Language Achievement Test has been used as a regular test and a mock test for the JLPT in local/overseas Japanese language schools and tertiary schools. In 2007, the Japanese Language Achievement Test for China, known as the first Japanese Language NAT-TEST, was conducted ('NAT' of NAT-TEST stands for Nihongo Achievement Test). After that, the test has been conducted in other countries and it has become the current Japanese Language NAT-TEST. The Institution Score Report of the Japanese Language NAT-TEST can be submitted to the Immigration Bureau of Japan as a proof of Japanese language proficiency for the application of Student visas and Technical Intern Training visas (care worker). Moreover, the Japanese Language NAT-TEST can be used as a proof in the ministries of reaching CEFR A2 level in Japanese.

日本語NAT-TEST関連書籍のご案内

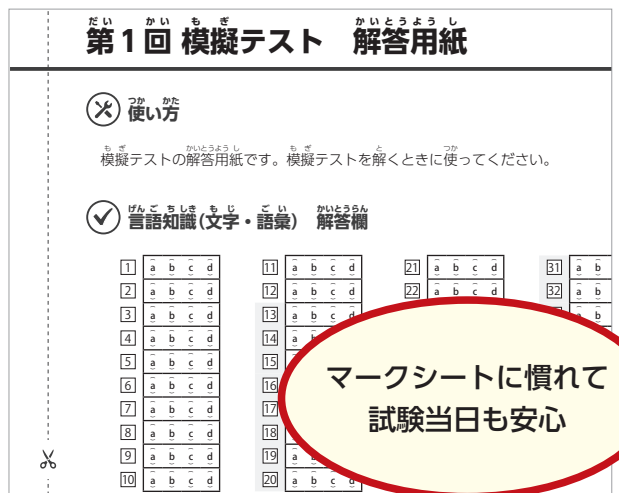
公式問題集・公式ガイドブック

日本語NAT-TEST公式問題集 (1級～5級)

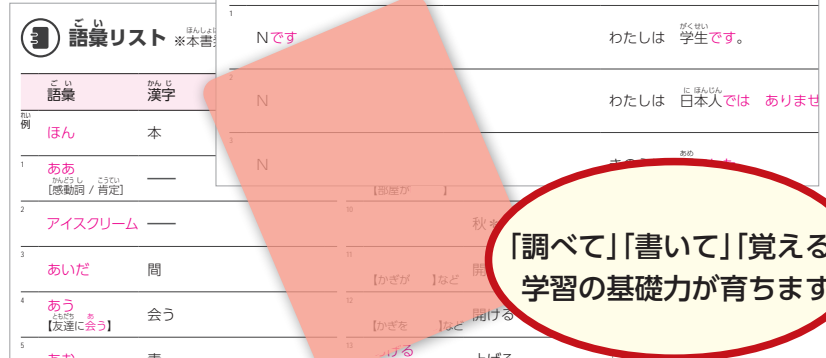
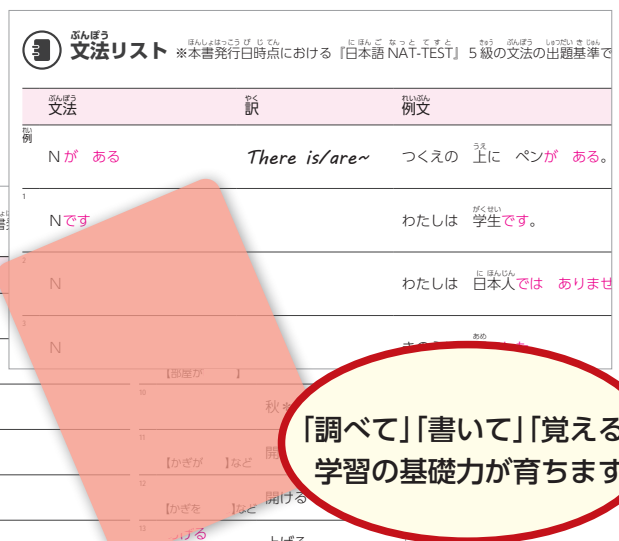
- 授業での使用にはもちろん、ふりがなつきなので自習教材としても最適です。
 - 問題形式が同じなので日本語能力試験対策にもぴったりです。
- ※ 1級は近日発売予定です。



詳細な解説で解答のコツを学習



模擬試験で試験形式に慣れる



付属の赤シートで隠して語彙と文法を暗記

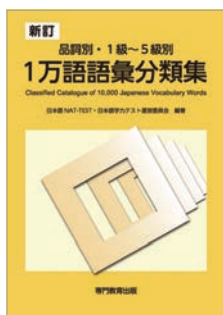
出題基準底本

日本語NAT-TESTで出題される語彙・漢字を網羅!

ベテランの日本語教師と日本語教材編集者がタッグを組み、現代の日本語教育の現場に必要な語彙を厳選して掲載しました。日本語 NAT-TEST や日本語能力試験の対策などにぜひご活用ください。

- ① N1 合格に必要な使用頻度の高い語彙・漢字を厳選して収録
- ② 語彙・漢字を日本語能力試験に対応した 5 レベルに分類
- ③ 常用漢字表のすべての漢字を収録 ※漢字基準表のみ

語彙



**【新訂】品詞別・1級～5級別
1万語語彙分類集**
B5判 464頁 9,000円 + 税

日本語教育に必要な基本語彙 10,068 語を厳選。すべての語彙を品詞別と1級 (N1)～5級 (N5) 別に分類して収録しました。

語彙が品詞やレベル別に一覧になっています。語彙の小テストの作成に便利です。

漢字



**【新訂】2,456 漢字・1級～5級別
語彙別 漢字基準表**
B5判 296頁 9,000円 + 税

平成 22 年改訂の「常用漢字表」のすべての漢字と『新訂 1万語語彙分類集』で使用された漢字を含めて、2,456 漢字を収録しました。

漢字ごとに読み・レベル・学年配当つきです。漢字の小テストの作成に便利です。

いんしょくてん ～ うさぎ 25									
No.	NAT-TEST	旧日能試	語彙	漢字・表記	名詞 カタカナ語	動詞 する動詞	形容詞 い形容詞	接辞 接辞	振語・擬態語 その他
606	3		いんしょくてん	飲食店	○				
607	3		インスタント…		○				
608	1		インターチェンジ		○				○
609	3	1	インターナショナル		○				
610	5		インターネット		○				
611	1	1	インターホン・インターフォン		○				
612	2	2	引退	引退		○			
613	3	2	インタビュー		○				
614	1		いんちき		○				
615	1	1	インテリ		○				
616	2		インテリア		○				
617	2	1	インフォメーション		○				
618	2		インフルエンザ		○				
619	1	1	インフレ (ーション)		○				
620	2	2	引用	引用		○			
621	2		いんりょうすい	飲料水	○				
622	1	2	いんりよく	引力	○				
623	2		ウィークエンド		○				
624	1		ウィークデー		○				
625	3	2	ウィスキー・ウイスキー		○				
626	3	1	ウィルス・ウイルス		○				

遺		炒*	
イ / (ユイ)	1 (1) 小6	いた・める / い・る	(1)
5		5	
4		4	
3		3	
2		2	
1	遺徳・な、遺産、遺失物、遺跡、遺体、遺伝 - する、 遺言 - する	1	
外		外	(炒める)・(炒る)

緯		→ イチノイツノひとノひと	
イ	1 (1)	つ	5 (4) 小1
5		5	一、一日<いちにち>、一日<ついたち>、一つ、 一月、一人
4		4	一度
3		3	一番、一部、一生、一杯な [たくさん]、一 般、一… [一包み]、一休み・する、一人一人、 万
2		2	… [日本一]、一々、一員、一応、一段と、 一度に、一人前 [成人]、一流、一家、一昨日 <いつきくじつ>、一昨年<いつさくねん>、 一種 [1つの種類]、一緒 [同じ]、一緒は、一 層、一旦、一定、一方、均一な、…均一な、 精一杯、第一、同一な、一言、一通り、一ま
1	緯度、経緯	1	
外		外	

謂*	
イ / いい / い・う / いわ・	れ
5	
4	
3	
2	
1	
外	

公式テキスト

学ぼう! にほんごシリーズ (日本語能力試験対応)



日本語 NAT-TESTの学習には、『学ぼう! にほんご』がおすすめです。豊富な副教材もご用意しています。

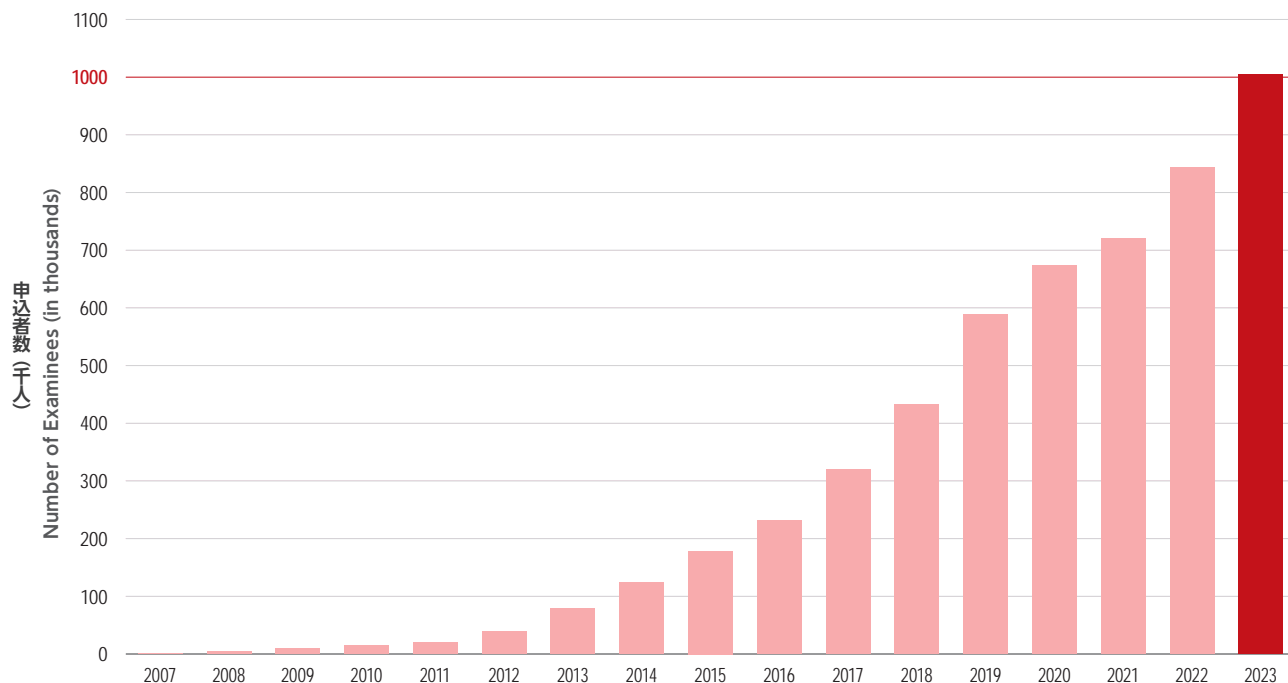
グラフで見る日本語NAT-TEST

累計申込者数

Cumulative Total Number of Examinees

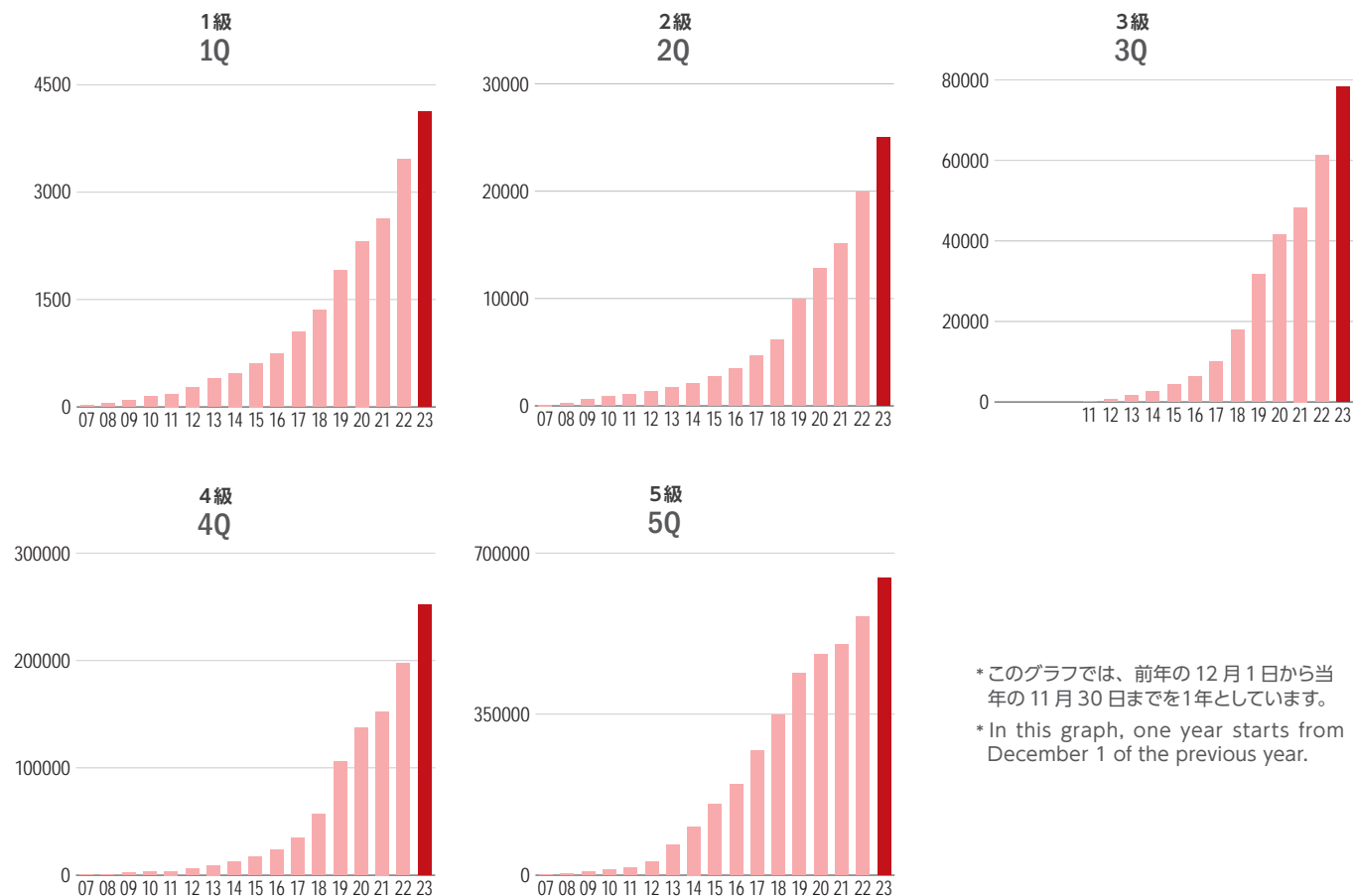
* このグラフでは、前年の12月1日から当年の11月30日までを1年としています。

* In this graph, one year starts from December 1 of the previous year.



累計級別申込者数

Cumulative Total Number of Examinees by Level

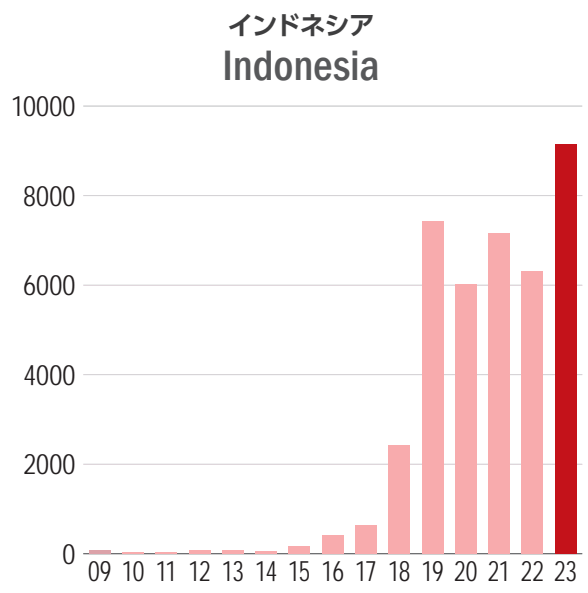
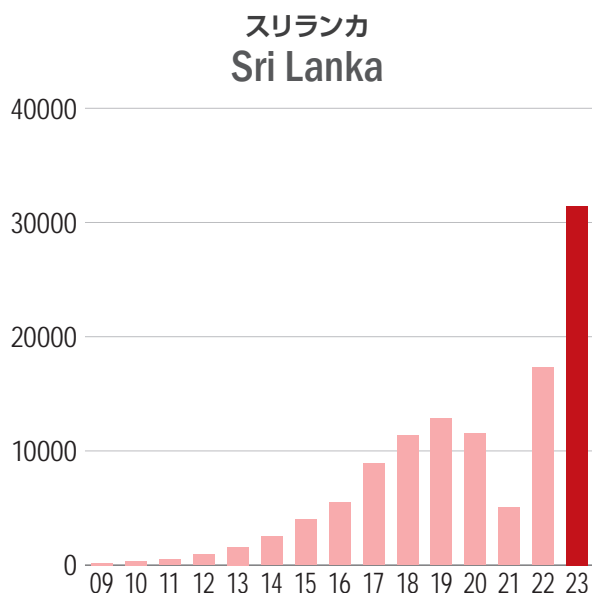
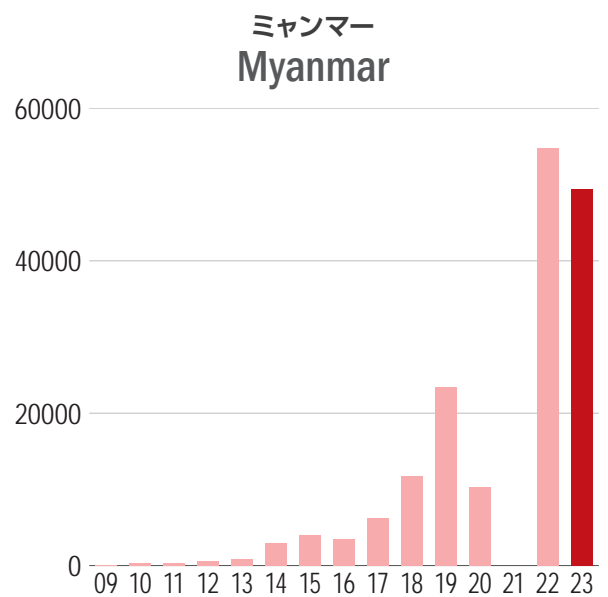
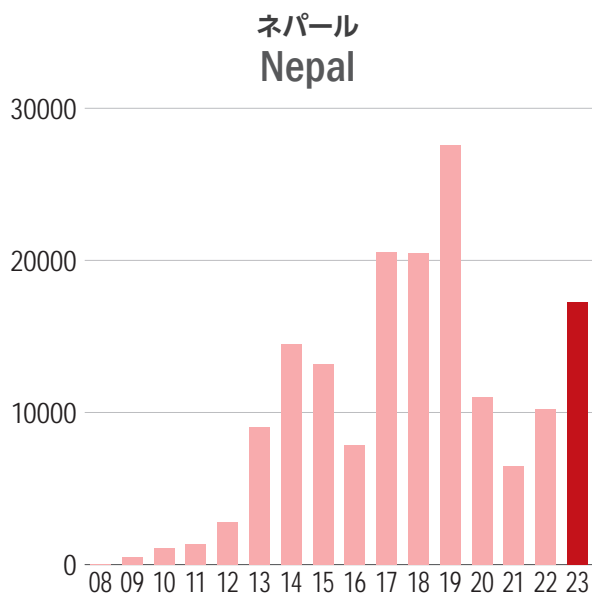
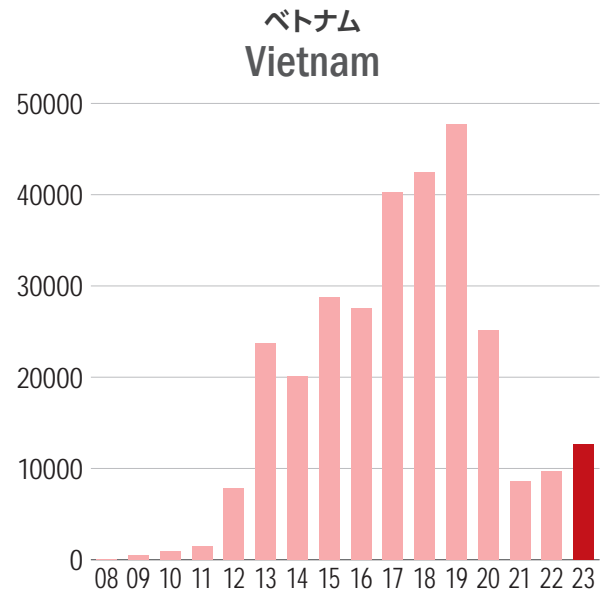
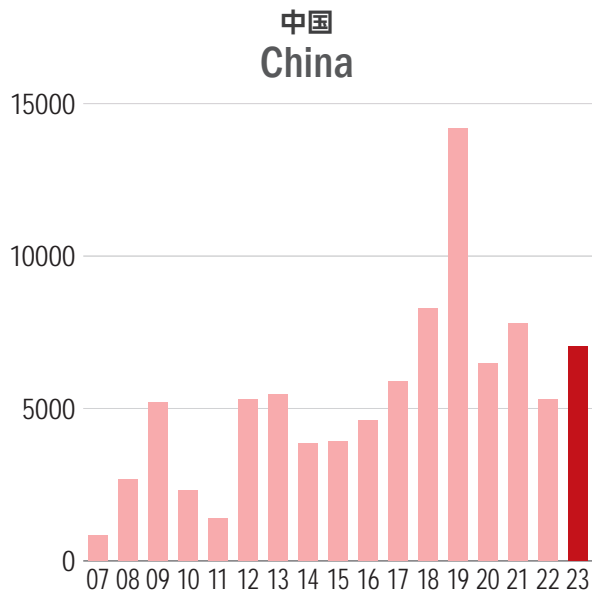


* このグラフでは、前年の12月1日から当年の11月30日までを1年としています。

* In this graph, one year starts from December 1 of the previous year.

初年度から 2023 年度までの申込者数の国別詳細

Number of Examinees by Country from the First Year to 2023

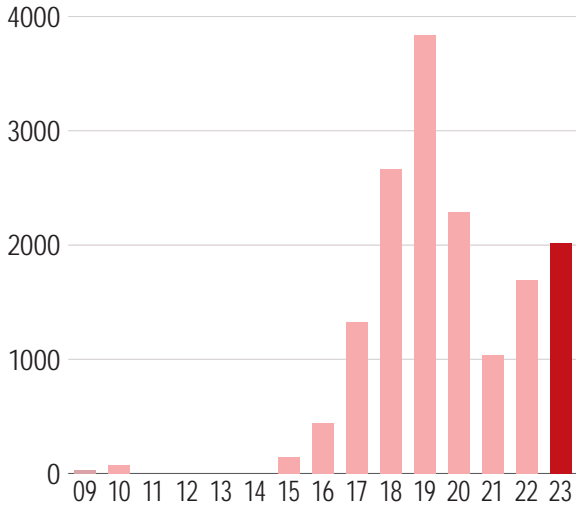


グラフで見る日本語NAT-TEST

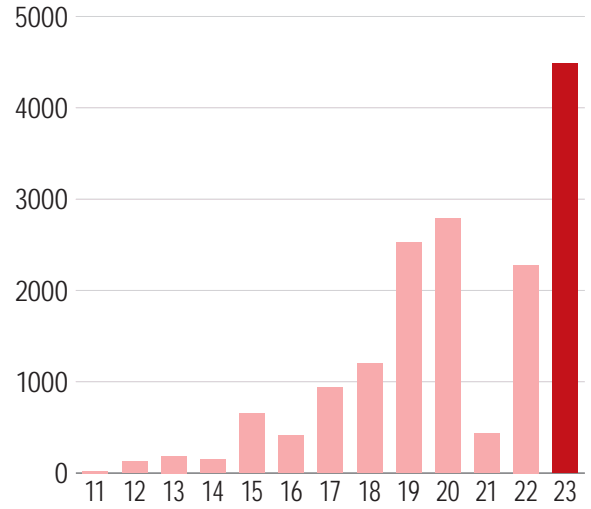
初年度から 2023 年度までの申込者数の国別詳細

Number of Examinees by Country from the First Year to 2023

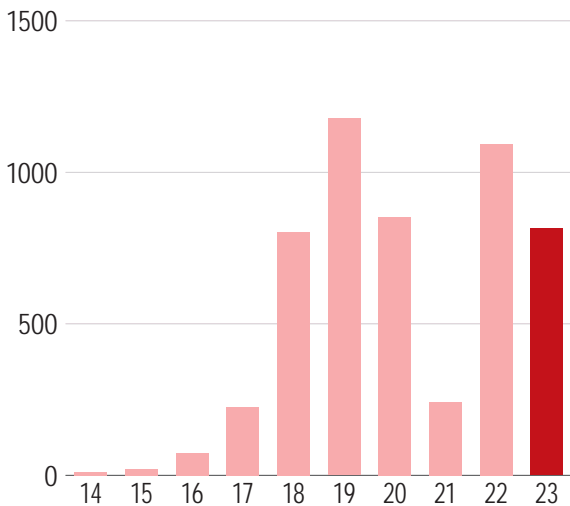
モンゴル
Mongolia



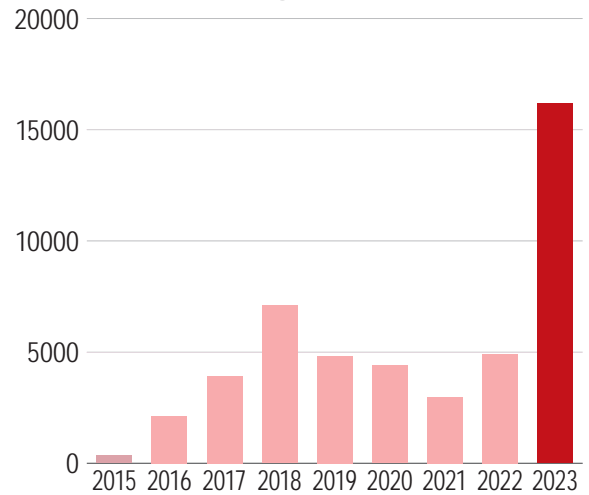
日本
Japan



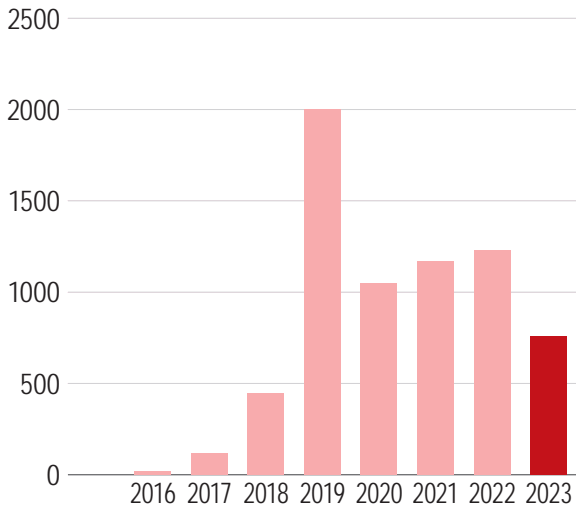
カンボジア
Cambodia



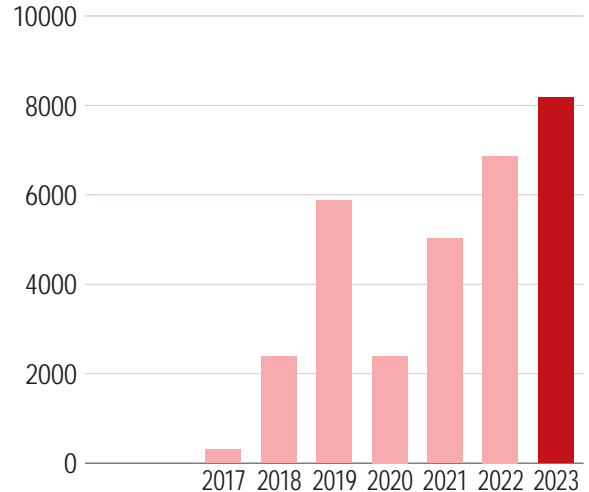
バングラデシュ
Bangladesh



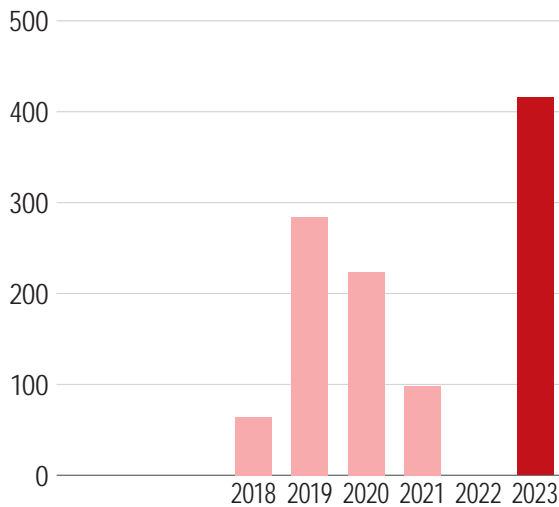
フィリピン
Philippines



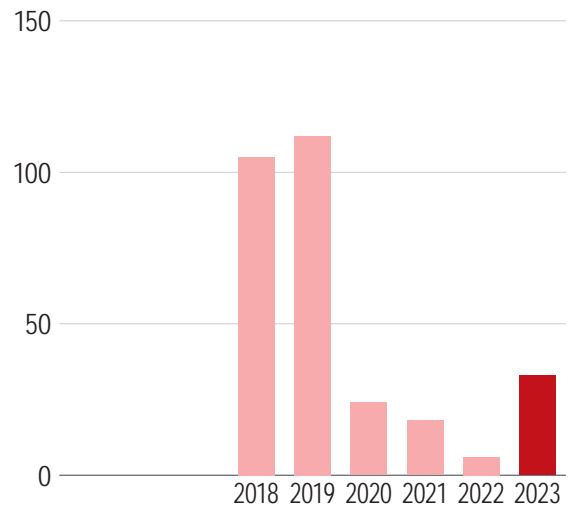
インド
India



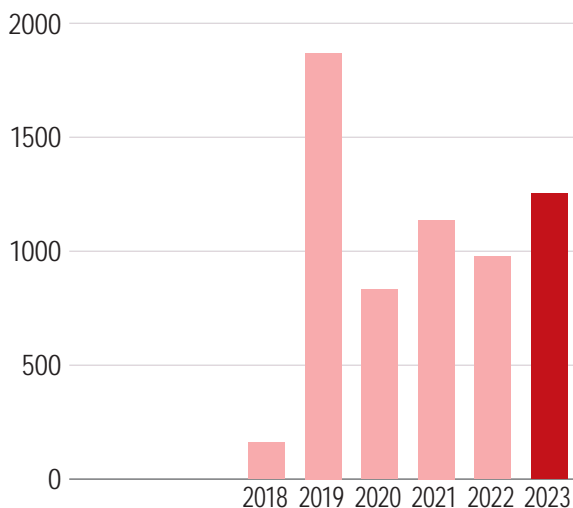
タイ
Thailand



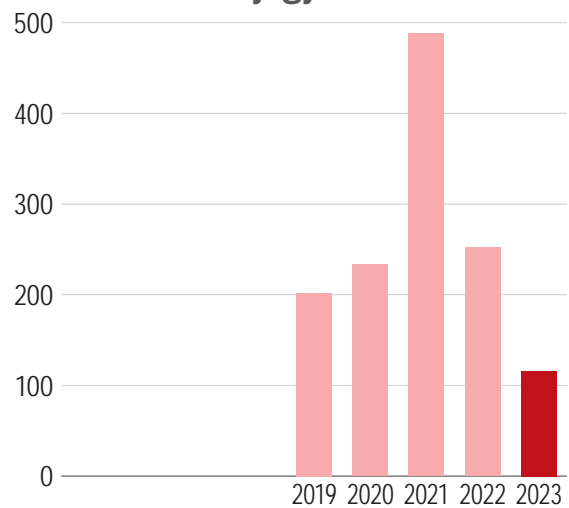
ブータン
Bhutan



ウズベキスタン
Uzbekistan



キルギス
Kyrgyz



*このグラフでは、前年の12月1日から当年の11月30日までを1年としています。
(例：2023年の申込者数は、2022年12月1日から2023年11月30日までの申込者数の合計です。)

* In this graph, one year starts from December 1 of the previous year.
(E.g. The number of examinees of 2023 is the total of examinees from December 1, 2022 to November 30, 2023.)

日本語 NAT-TEST の誓い

The Japanese Language NAT-TEST Code of Honor

日本語 NAT-TEST は、厳正公正な試験運営のため、すべての受験者と利用者、運営者が守るべきルールとして「日本語 NAT-TEST の誓い」を設けています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

To conduct a strict and fair test, the Japanese Language NAT-TEST has set "The Japanese Language NAT-TEST Code of Honor" for all examinees, users, and administrators to follow. We thank you for your cooperation.

日本語 NAT-TEST の誓い

日本語 NAT-TEST は不正をしません。
日本語 NAT-TEST は不正を許しません。

The Japanese Language NAT-TEST Code of Honor

I will not cheat in the Japanese Language NAT-TEST or
engage in any dishonest act.

I will not tolerate any cheating or dishonest act.

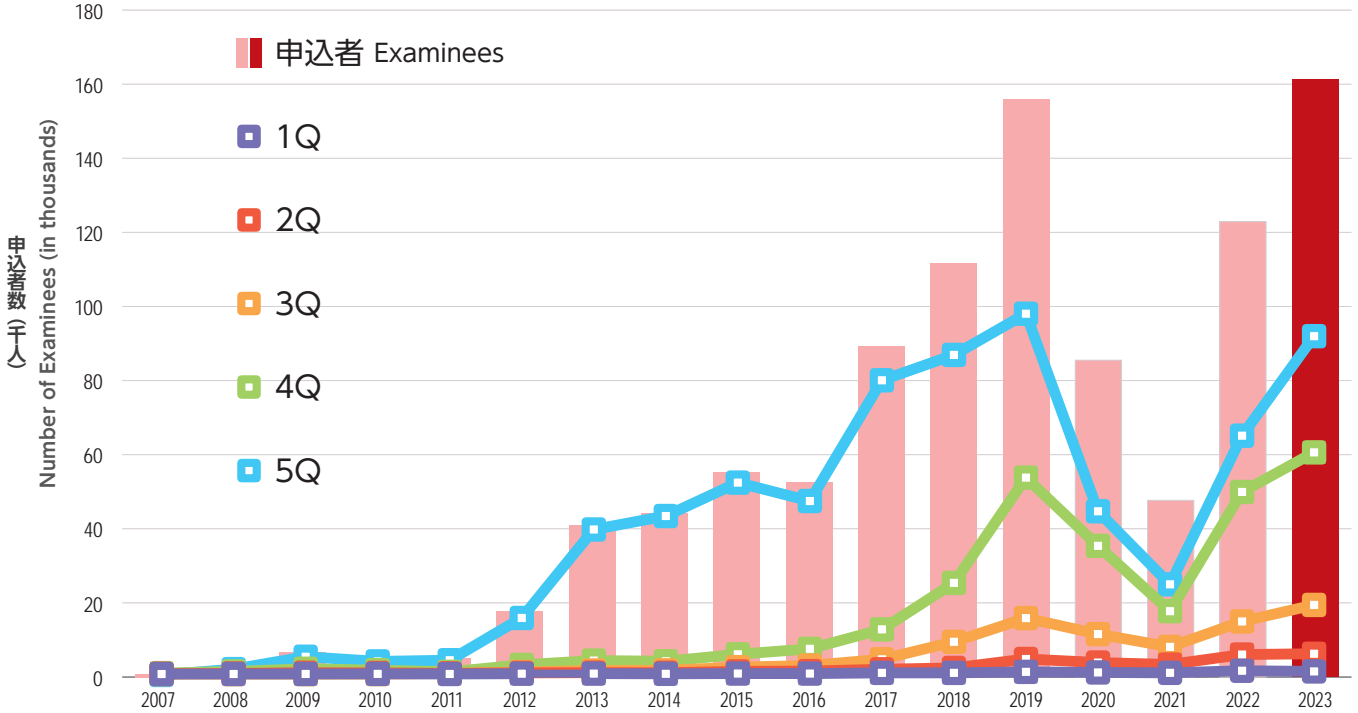
グラフで見る日本語NAT-TEST

年度別申込者数

Number of Examinees by Year

*このグラフでは、前年の12月1日から当年の11月30日までを1年としています。
(例：2023年の申込者数は、2022年12月1日から2023年11月30日までの申込者数の合計です。)

* In this graph, one year starts from December 1 of the previous year.
(E.g. The number of examinees of 2023 is the total of examinees from December 1, 2022 to November 30, 2023.)



国別申込者数

Number of Examinees by Country

*このグラフでは、前年の12月1日から当年の11月30日までを1年としています。
(例：2023年の申込者数は、2022年12月1日から2023年11月30日までの申込者数の合計です。)

* In this graph, one year starts from December 1 of the previous year.
(E.g. The number of examinees of 2023 is the total of examinees from December 1, 2022 to November 30, 2023.)

